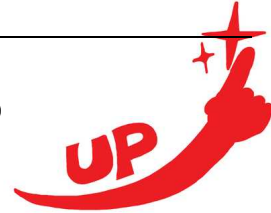


太宰府中学校 | 学年だより

第8号 R5.6.22 文責: | 学年主任

だが、「伸びしろ」はある



今週は、中間考査の結果が成績ファイルとして渡されます。成績ファイルには、一人一人のテストの結果のほかに、次のことが書かれています。

- (1) 各教科の点数の分布表（それぞれの点数をとった人数を学年単位で示しています）
* 中学校は「公教育」なので、個人の成績を順位として示すことはしません。
その代わりとして、分布表でおおまかな位置を知らせます。
- (2) 各教科の平均と個人の成績との比較（5角形のグラフで表しています）
- (3) 成績の推移（テストの成績のうつりかわりを折れ線グラフで表しています）
* 成績の推移は、点数ではなく「標準点」で表します。
「標準点」とは、各教科の平均点を50にそろえたときの数値です。
「標準点」の詳しい見方については、成績ファイルにはさんでいます。

今回の中間考査を振り返って、次のことを気をつけるとさらに伸びると思います。

- (1) 問題文をよく読みましょう。
中学校の問題は、小学校と比べて問題文の字数が多かったことに驚いたことでしょう。
読むのに精一杯で時間が過ぎた人もいたかと思います。逆に、問題文を丁寧に読まずに問題の意図をはき違えた答えも多く見られました。
例えば「記号で答えなさい」と書かれているのに、番号で答えたり、語句を書いた答えが見られました。非常にもったいないことだと思います。
朝活動の時間に読書をさせているのは、読書の楽しみを知るだけでなく、多くの文章を読むことで、早く正確に読むスキルを身につけるためでもあります。
- (2) 文字を丁寧に書きましょう。
他の教科の答案も見ましたが、全体的に文字の書き方に課題がある人が多かったようです。特に文字を重視する「国語」や「英語」は、より厳しく採点されていました。
日頃から、授業ノートやミチザネノートなど文字を丁寧に書く習慣をつけましょう。
また、皆さんが中学校で受けるテストは定期考査だけではなく、夏休み明けの課題テストなどは、中学校の先生ではない人が採点し、読みにくい文字はすべて減点されます。それは、高校入試でも同じことです。
文字を丁寧に書かずに、減点されて損をするのは他でもない「あなた」です。



しかし、今回の中間考査で、「この姿、この行いは伸びる」と思ったこともあります。

- (1) 理科のテストが終わった後で、ある生徒が「先生、最後の問題を間違えました！」と話してくれました。この生徒は、テストが終わった後、おそらく友人と答えを確認し、問題を分析した結果の話だと思います。
試験の結果に拘泥せず、問題を振り返り丁寧に分析していたところに、彼の伸びしろを感じました。この生徒は、次の試験ではより深く問題を読み取ることでしょう。
- (2) 試験を返したときに、ある生徒が「先生、模範解答と自分の答えが違っていたのに○になっています。」と答案を持ってきました。
黙っていたらわからないことです。そのまま点数になります。でも、この生徒の正直な心が間違った採点を伝えたのでしょう。この生徒は、周囲から高く評価されました。きっと、次の試験では、より注意深く問題に取り組むでしょう。
- (3) 皆さんの答案を見たときに、ほとんどの人が「解答欄」をすべて埋めていました。
正誤に関係なく、解答欄をすべて埋めるということは、「1点でも取ろう」という貪欲さ（どんよく）の表れです。この姿勢が継続できたら、皆さんはもっと伸びます。

今回の試験でうまくいかなくても、次の試験で1つでも挽回できるように、皆さんそれぞれの「伸びしろ」を十分に高めていきましょう。

㊦ S先生、3週間で指導ありがとうございました。

5月末日から教育実習に来ていたS先生が、3週間の実習を終えて、大学に戻りました。
先生には、社会の先生として、また、剣道部の顧問として、朝早くから夜遅くまで一生懸命授業の準備や部活動の指導に邁進していました。15日の査定授業でも、立派な姿で授業を行い、いろいろな先生から評価されていました。
先生から、皆さんにメッセージをいただきました。先生、お元気で、また会う日まで♪